

授業科目区分	専門分野《地域・在宅看護論》	
授業科目	地域の人々の暮らし	
開講年次・学期	1年次・前期	
単位（時間）	1（15）	
担当講師	《教務部長》看護師としての実務経験あり	
科目のねらい	<p>地域に暮らす人々とその家族の暮らしを理解する。小児、母性、成人、老年など発達段階ごとの人々の暮らしを知りつつ、地域に住む人々や家族・地域との相互作用について学ぶ。</p> <p>学習方法はグループでの学習やフィールド学習を行い、一人一人が主体的に学ぶ力やコミュニケーション能力を養うこともねらいとする。</p>	
到達目標	<p>①人の暮らしの基盤となる地域について理解する</p> <p>②地域に暮らす人と、健康な暮らしについて理解する</p>	
授業計画	回	学習内容・方法
	1 (2h)	<p>講義 授業ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉敷市の状況に関しては各グループで情報収集して臨む ・参加する活動に対しての場や職種・各期の特徴について学習する。 ・情報収集については、インターネットや情報誌など様々使用してよいか、確かな情報を取り扱うよう留意する。 <p>グループ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでフィールド実習に向けての学習計画を立てる（目標・実施計画） ・個別、グループでの学習を行う。 ・活動の実際については他学年とも協力して計画をたてる。 <p>ゼミ1・・・地域の防災活動 倉敷市防災危機管理室による防災出前講座</p> <p>ゼミ2・・・高齢者の生活の理解 高齢者ふれあい事業 倉敷市社会福祉協議会</p> <p>ゼミ3・・・高齢者の生活の理解 高齢者支援センター 介護予防教室</p> <p>ゼミ4・・・小児期の生活の理解 倉敷市 こどものための食育フェア</p> <p>ゼミ5・・・小児期の生活の理解 みらい保育園での活動</p> <p>ゼミ6・・・成人期の生活の理解 予防医療プラザ</p> <p>ゼミ7・・・小児期とその家族の生活の理解 子育て応援ナビぽっかぽか（NPO法人）の活動</p> <p>ゼミ8・・・学童期の生活の理解 倉敷東小児童クラブしらかベキッズ</p> <p>ゼミ9・・・高齢者の生活の理解 高齢者支援センター 介護予防教室</p>
	2	グループ学習
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学習の共有とグループ学習を行う
	4 (4h)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールド学習に向けた準備を行う
	4 (3h)	<p>フィールド学習 2年生と共に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動に参加し、地域に暮らす人々との交流を行う <p>*事後課題1・・・フィールドワーク終了後、個人で学びをレポートし提出</p>
	5 (2h)	<p>グループ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールド実習のまとめ学習を行う ・プレゼンテーションの準備を行う。発表方法はパソコン使用、模造紙使用等自由であるが効果的な発表となるよう工夫する。
6 (4h)	<p>グループプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループのプレゼンテーションを聞き、地域に住み人々の暮らしの理解を深める <p>*事後課題2・・・グループプレゼンテーション後、個人で学びをレポートし提出</p> <p>レポートについては地域の中で生活する自分自身の暮らしについても考える。</p>	
参考文献	<p>1) 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践, 医学書院, 2022.</p> <p>2) 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤, 医学書院, 2022.</p>	
成績評価方法	活動の取り組み状況、事後課題1・2、グループプレゼンテーションを合計し、6割以上を合格とする。	
備考		

授業科目区分	専門分野《地域・在宅看護論》	
授業科目	地域の人々の健康な暮らしと支援	
開講年次・学期	2年次・前期	
単位（時間）	1（30）	
担当講師	①《専任教員》看護師としての実務経験あり ②《副校長》看護師としての実務経験あり ③《所属：倉敷中央病院 がん看護専門看護師》 ④《所属：倉敷中央病院 がん相談支援室長》 ⑤《所属：倉敷中央病院リバーサイド 副看護部長》 ⑥ 倉敷市職員 《所属：倉敷市防災危機管理室》	
科目のねらい	<p>地域に暮らす人々やその家族の健康な暮らしや健康な暮らしを守るための支援について段階的に学ぶ。</p> <p>STEP1 では、地域に住む各発達段階の人々の健康課題やニーズを暮らしと関連させながら理解するとともに、健康の保持増進のための自助や、地域（市・社協・自治会など）が健康な暮らし（危機・安全を含め）を守るためにやっている互助・共助・公助について学ぶ。</p> <p>STEP2 では、旭川荘の実習を通して、障がいを持つ人々の生活や社会福祉サービスについて学ぶ。</p> <p>STEP3 では、生活する場が変化しても病棟から地域、地域から外来、外来から地域など地域での暮らしを守るために継続して行われている支援の実践について学ぶ。外来、地域連携・調整についてはがん専門看護師・がん相談支援員の講義を通して、病気をもちながらも地域で生活することを継続して支援することを学ぶ。また地域で市民が安全に生活するための取り組みや、災害における対応については倉敷市の取り組みを学ぶ。それぞれがどのような役割や機能を果たしているのかを学ぶことで、一人の人の健康状態に応じた暮らしを守るための支援について理解する。</p> <p>グループ学習やフィールド学習を行うことで、主体的に学ぶ力も養う科目とする。</p>	
到達目標	①地域に暮らす人々の健康な暮らしを守るための支援について理解する ②健康な暮らしを継続するための保健・医療・福祉システムについて理解する	
授業計画	回	学習内容・方法
		STEP1 人々の健康な暮らしや健康な暮らしを守るための活動・支援の理解（13h）
	1 (1h)	講義 ・授業ガイダンス
	2 3 (4h)	グループ学習 ・倉敷市の状況に関しては各グループで情報収集して臨む ・参加する活動に対しての場や職種・各期の特徴・施策について学習する。 ・情報収集については、インターネットや情報誌など様々使用してよいか、確かな情報を取り扱うよう留意する。 ・フィールド学習に向けての計画立案（目標・実施計画）
		ゼミ1・・・地域の防災活動 倉敷市防災危機管理室による防災出前講座 ゼミ2・・・・・・ 高齢者の生活の理解とその支援 高齢者ふれあい事業 倉敷市社会福祉協議会 ゼミ3・・・高齢者の生活の理解とその支援 高齢者支援センター 介護予防教室 ゼミ4・・・小児期の生活の理解とその支援 倉敷市 こどものための食育フェア ゼミ5・・・・・・小児期の生活の理解とその支援 みらい保育園での活動 ゼミ6・・・成人期の生活の理解とその支援 予防医療プラザ ゼミ7・・・・・・小児期とその家族の生活の理解とその支援 子育て応援ナビぽっかぽか（NPO法人）の活動 ゼミ8・・・・・・学童期の生活の理解とその支援 倉敷東小児童クラブしらかベキッズ ゼミ9・・・・・・高齢者の生活の理解とその支援 高齢者支援センター 介護予防教室
	4 (3h)	フィールド学習 1年生と共に学ぶ ・グループで地域の活動への参加 ＊事後課題1・・・フィールドワーク終了後、個人で学びをレポートし提出
	5 (2h)	グループ学習 ・フィールド学習のまとめ学習 ・グループプレゼンテーションの準備

6 (3h)	<p>グループプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループのプレゼンテーションを聞き、人々の健康な暮らし、健康な暮らしを守るための活動・支援について理解を深める プレゼンテーションの準備を行う。発表方法はパソコン使用、模造紙使用等自由であるが効果的な発表となるよう工夫する。 <p>*事後課題2・・・グループプレゼンテーション後、個人で学びをレポートし提出 レポートについては地域の中で生活する自分自身の暮らしと取り巻く環境について</p>	
STEP2 障がいを持つ人々の生活や社会福祉サービスについて学ぶ(9h)		②
7 (2h)	ガイダンス 旭川荘実習に向けてのガイダンス	
8 (4h)	旭川荘実習	
9 (1h)	グループ学習 発表に向けての準備	
10 (2h)	全体共有 全体発表と講評	
STEP3 地域の人々の健康な暮らしを継続するための保健・医療についての理解 (8h)		
11	<p>講義 外来化学療法における継続看護 がん専門相談員・がん専門看護師の役割について 患者のニーズと支援の実際 地域連携について</p>	③
12	<p>講義 がん相談支援センター役割 ソーシャルワーカーの役割 患者のニーズと支援の実際 地域連携について</p>	④
13	<p>講義 倉敷中央病院リバーサイドの役割 地域包括ケア病棟の機能について 多職種連携と看護師の役割について 地域連携について</p>	⑤
14	講義 地域住民の暮らしを守る倉敷市の取り組みと真備水害の活動の実際	⑥
必携文献		
<p>参考文献</p> <p>1) 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤, 医学書院, 2022. 2) 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実際, 医学書院, 2022.</p>		
<p>成績評価方法</p> <p>①については活動の取り組み状況、事後課題1・2、グループプレゼンテーションについて 60点分 ②についてはレポートで評価 20点分 ③④⑤⑥についてはA5レポートで各5点×4=20点分 ①～⑥の合計点で6割以上あれば合格とする。</p>		
備考		

授業科目の区分	専門分野《地域・在宅看護論》
授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅱ(暮らしを支える看護技術)
開講年次・学期	2年次・前期
単位(時間)	1(15)
担当講師	《教務部長》看護師としての実務経験あり
科目のねらい	地域・在宅で提供する看護を理解し、基礎的技術を身につける。また、家族の役割、機能について学習し、家族看護について理解する。
授業計画	<p>1. 演習 事例をもとにグループ演習</p> <p>1回目(1h): 演習のオリエンテーション</p> <p>2回目(2h): 訪問演習(初回訪問の対応とマナー)</p> <p>3回目(2h): 家族看護 家族システム論・ストレス対処理論・発達理論 家族アセスメント・家族の対応能力</p> <p>4回目(2h): 演習準備</p> <p>5回目(2h): 演習①清拭・陰部洗浄・寝衣交換、洗髪</p> <p>6回目(2h): 演習②入浴、胃瘻</p> <p>7回目(2h): 演習③気管内吸引、在宅酸素療法</p> <p>8回目(2h): 演習④在宅中心静脈栄養法(ポート)、在宅人工呼吸療法</p>
必携文献	<p>1) 河原加代子他: 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践, 医学書院, 2022.</p> <p>2) 押川真喜子: 写真でわかる訪問看護 アドバンス, インターメディカ, 2016.</p>
参考文献	1) 河原加代子他: 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤, 医学書院, 2022.
成績評価方法	出席状況、課題レポート、グループ演習課題により評価し、6割以上を合格とする。
備考	

授業科目の区分	専門分野《地域・在宅看護論》		
授業科目	地域・在宅看護実践演習（地域・在宅における看護展開）		
開講年次・学期	2年次・後期		
単位（時間）	1（30）		
担当講師	①《教務部長》看護師としての実務経験あり ②《所属：倉敷中央訪問看護ステーション 兼 ヘルパーステーション 所長》		
科目のねらい	地域・在宅看護について、その特質、問題解決にあたっての対象者・家族中心のあり方と具体的な対応方法、在宅ケア支援のための保健・医療・福祉ネットワークの活用などの事例を通して理解する。		
授業計画	回	内容と方法	事前・事後学習
	1 (2 h)	講義 1. 在宅看護の展開方法 1) 看護展開の特徴・構成要素 2) 看護展開の全体像・情報収集 3) 療養者への健康問題と家族に及ぼす影響 *脳卒中の療養者、難病の療養者、終末期にある療養者 在宅酸素療法の療養者のグループに分かれて事例展開をする。	担当事例の学習と 対象の理解
	2 (2 h)	演習 紙上事例患者の対象理解 療養者の対象理解を共有する。	演習内容の修正 関連図
	3 (2 h)	演習 紙上事例患者の対象理解 対象全体像・関連図を共有し、看護の必要性について考える 講義 家族アセスメント・家族の対応能力・適応能力	演習内容の修正 家族アセスメント 社会資源について
	4 (2 h)	演習 紙上事例患者の対象理解 紙上事例療養者における家族アセスメントの共有・社会資源の活用 を把握し全体像の再確認 事例共有カンファレンスに向けての準備	授業内容の修正
	5・6 (4 h)	演習 紙上事例患者の対象理解 4事例全体カンファレンス	多職種連携に向け て
	7 (2 h)	演習 多職種カンファレンスに向けての準備	
	8・9 (4 h)	演習 紙上事例患者の対象理解 多職種連携退院カンファレンスの実際 脳卒中の療養者(ケアマネジャー) 難病の療養者(理学療法士) 在宅酸素療法中の療養者(作業療法士) 終末期にある療養者(薬剤師)	授業内容の修正 看護問題のアセ スメント・看護計 画立案
	10 (2 h)	演習 紙上事例患者の対象理解 多職種連携カンファレンスを行っての学び 看護問題のアセスメント・看護計画の共有 発表に向けての準備	授業内容の修正
	11 (2 h)	発表 老々介護で脳卒中療養者の看護展開 プレゼンテーション	授業内容の修正 退院調整について
	12 (2 h)	発表 独居で在宅酸素使用中の療養者の看護展開 プレゼンテーション	授業内容の修正 退院調整について
	13 (2 h)	発表 難病で人工呼吸器使用中の療養者の看護展開 プレゼンテーション	授業内容の修正 退院調整について

①

①

②

	14 (2h)	発表 終末期にある療養者の看護展開 プレゼンテーション	授業内容の修正 退院調整について	
	15 (2h)	演習 紙上事例療養者におけるアセスメント 事例療養者の退院支援・退院調整について考える 地域・在宅看護論実習に向けて	授業内容の修正	①
必携文献	1) 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論の実践, 医学書院, 2022.			
参考文献	1) 押川眞喜子：写真でわかる訪問看護 アドバンス, インターメディカ, 2016. 2) 岡堂哲雄：系統看護学講座 基礎分野 家族看護論, 医学書院, 2018. 3) 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤, 医学書院, 2022.			
成績評価方法	出席状況、課題レポート、グループ演習課題により評価し、6割以上を合格とする。			
備考				